

Japan Utility Model Publication No. 46-20616

Title of Device: Electric Cleaner

Applicant: Sharp Co., Ltd.

Application No. 42-19483

Application Date: March 8, 1967

Claim 1

An electric cleaner in which  
a main body houses a suction device,  
a suction port body, being separately formed from the main body, is detachably  
connected to the main body through an extension pipe and a suction hose,  
a filter is inserted to the interior of the suction port body and a brush frame is  
detachably mounted to a lower opening of the suction port body,  
a cover, being openable only inward, is mounted to usually keep the brush frame  
opening in closed state,  
a dust collecting recess is formed around the opening, and  
a filter boundary packing is fit between the brush frame boundary and the suction  
port boundary.

⑤Int.Cl.  
A. 47 I

⑥日本分類  
92(3)D 103.1  
92(3)D 101

日本国特許庁

⑩実用新案出願公告

昭46-20616

# ⑩実用新案公報

④公告 昭和46年(1971)7月16日

(全3頁)

1

## ④電気掃除機

①実 願 昭42-19483  
②出 願 昭42(1967)3月8日  
⑦考 案 者 佐野算昭  
大阪市阿倍野区長池町22の22  
シャープ株式会社内  
同 真康雄  
同所  
⑧出 願 人 シャープ株式会社  
大阪市阿倍野区長池町22の22  
代 理 人 弁理士 福士愛彦

### 図面の簡単な説明

第1図は本案の側面図、第2図は集塵時の本案15の要部拡大断面図、第3図は第2図III-III線断面図、第4図は除塵時の本案の要部拡大断面図である。

### 考案の詳細な説明

本案は集塵する塵埃の除去が便利に行われる電気掃除機に係る。

図において、1は吸引装置2を内装する掃除機本体、3はサクシヨンホース、4は延長管、5はこれらサクシヨンホース3及び延長管4を介して掃除機本体1に着脱自在に接続される吸込口本体25で上部開口6に回動自在の接続管7を装着する。8は吸込口本体5の下部開口に着脱自在に装着されるブラシ枠でブラシ9を有すると共にその開口10に内方にのみ開放可能な蓋体11が常時閉塞するよう取り付け、かつその開口の周囲に集塵凹所が形成されている。該ブラシ枠8はその一側を吸込口本体5の一側の係止片12に係合させると共にその他側を吸込口本体5の他側の係止杆13に係合させる。この係止杆13は支軸14に回動自在に枢着されると共にばね15にて係合方向に常時附勢される。16は吸込口本体5の内部空所18に内装されるフィルターにしてその周縁のバツキング17が吸込口本体5の周縁とブラシ枠8の周縁間に挟持される。

2  
本案は上記のように構成されるから、吸引装置2を駆動すると、吸込口本体5の内部空所18内が外部より低圧になり、蓋体11が内方に吸い込まれて(第2図鎖線で示す)開口10を開き外部5の内部空所18に吸い込まれた外部空気はフィルター16を通りこゝで空気中の塵埃が取り除かれて接続管7、延長管4及びサクシヨンホース3を添て掃除機本体1から排出される。次に吸引装置2を停止すると吸込口本体1の内外の気圧差がなくなり、蓋体11が突線の如く復帰して開口10を閉塞する。従つて、フィルター16で空気中より除去された塵埃はフィルター16とブラシ枠8の集塵凹所の内壁で囲まれる空所内に集積される。多量の塵埃が溜まれば、吸込口本体5を延長管4から抜き取つて所定の廃棄場所に持ち運び、こゝで係止杆13をばね15に抗して回動するとブラシ枠8から外れるので、ブラシ枠8及びフィルター16は吸込口本体5の下部開口から取り外されて(第4図示)フィルター16を取り除き集積された塵埃を廃棄し得るものである。

次に塵埃を廃棄すれば、フィルター16をブラシ枠8上に載せ、これらの一側を係止片12に引掛けると共に他側に係止杆13を操作して係合せしめ、吸込口本体5の下部開口に取り付け、さらにこの吸込口本体5を接続管7でもつて延長管4の先端に接続し次の使用に備える。

叙上のように本案はフィルターが吸込口本体に内装されブラシ枠の着脱により簡単に取り外せるから、吸込口本体を塵埃の廃棄場所まで持ち運んだ後にフィルターを取り出して廃棄することができ、持ち運びが軽量のため容易となるのみならずブラシ枠の開口を閉塞する蓋体と相俟ち運搬時に周囲に塵埃が飛散することがなくきわめて衛生的であり、又塵埃が吸込口本体内のフィルターで除去されるから延長管及びサクシヨンホース内を通過する空気中に塵埃がなく延長管及びサクシヨンホースに大径のものを必要としないばかりでなく内部に塵埃による静電気が発生せず、又多少風量

2

3

4

が低下しても塵埃を吸いとることができ、しかも掃除機本体に吸引装置のみとなりフィルターがないから掃除機本体が小形になり操作性が向上しこの本体を組で肩にかけて持ち運びして掃除することもできる等の利点を有するものである。5  
実用新案登録請求の範囲

吸引装置2を内装する掃除機本体1にこの本体1とは別体に形成された吸込口本体5を延長管4及びサクシヨンホース3を介して着脱自在に接続し、この吸込口本体5の内部空所18にフィルタ16を内挿すると共に吸込口本体5の下部開口にブラシ棒8を着脱自在に装着し、このブラシ棒

8の開口10には内方のみ開放可能な蓋体11を常時閉塞するよう取付けると共に前記開口の周囲に集塵凹所を形成し、さらにこのブラシ棒8の周縁と吸込口本体5の周縁間にフィルター16の周縁のパツキング17を挾持せしめてなる電気掃除機。

## 引用文献

実 公 昭36-2754

実 公 昭12-13800



